

並木病院における新型コロナウイルス感染症クラスターの収束について
(2022/11/23 第1報, 1/6 最終報)

令和4年11月23日、入院患者2名の新型コロナウイルス感染が判明し、治療と院内感染防止施策のさらなる徹底をしましたが、その後全病棟に患者が発生しました(第2報)。

院内感染制御チームと病院職員全員が一丸で感染拡大防止に全力で臨み、4つある病棟のうち、A3病棟、A2病棟、B1病棟については感染が収束しました(第3報)。最後となりましたが、本日、B2病棟の感染が収束致しました。

患者様、御家族の皆様には、大変な御迷惑と御心配、御不便をおかけ致しましたこと、心からお詫び申し上げます。

新年になっても新型コロナウイルス感染は落ち着きを見せず、加えて市内のインフルエンザ流行が確定的です。今後はダブル流行を見据えた感染症対応が必要です。新型コロナもインフルエンザも無症状、軽症感染者が存在しており、いつまた病院内に感染が広がるかが予見できません。当院では以前から職員一同、厳重な感染管理下(マスク+フェイスシールド又はゴーグル装着)で患者様の診療・看護・介護をしておりますが、引き続き継続して参ります。

今回の感染クラスターは収束しましたが、現下の市中の感染状況を勘案し、当面は病院が許可した面会を除いては禁止を継続しますのでご了承下さい。

令和5年1月6日

並木病院長 赤津拓彦